

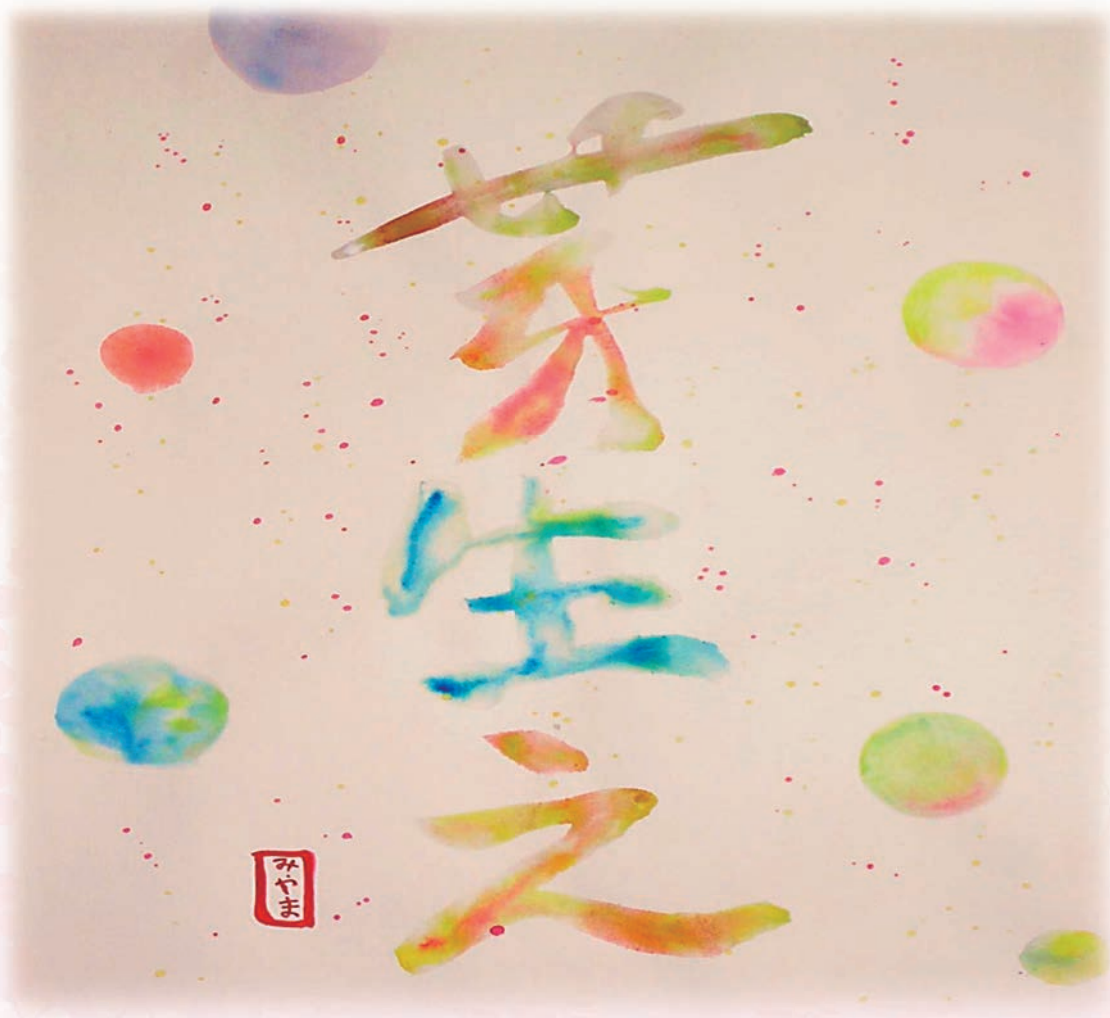
社会福祉法人 山形県社会福祉事業団広報誌

かざぐるま

ひと 未来 輝いて

2017 May

NO. 97



(みやま荘 入所者)

特集

●事業団が目指す機能強化

トピックス

- 山形県社会福祉事業団の新人職員・3年目職員インタビュー
- 決算報告
- 各施設の取り組み
- 常務理事ごあいさつ、「のどか」のパン紹介と寿海荘

事業団が目指す機能強化

現在、当事業団では、鶴岡市大山地区において、障害者支援施設「鶴峰園」と「慈丘園」の移転改築（合築）準備を進めるとともに、コロニー希望が丘（川西町）のひめゆり寮、しらすぎ寮及び診療所において施設改修工事を行っています。

この改築や改修は、「県立障がい者等施設見直し方針（平成26年6月）」に基づき実施しているものですが、施設の機能を強化することも重要な目的としていることから、今回の特集では、「施設の機能強化」にスポットを当て、その内容を紹介します。

1 機能強化の内容

「見直し方針」では、障害者支援施設における新たなニーズとして、入所者の高齢化への対応、強度行動障がいの受入れ（在宅支援含む）、難病患者等医療的ケアを要する利用者の受入れ（リハビリ訓練含む）などが示されています。

当事業団では、県からの必要な支援を受けながら、施設の改築や改修といったハード面、そして、有資格援助員や看護師・PT・OT等の医療専門職の配置といったソフト面の2つの側面から、平成28年度以降、3年に渡って計画的に機能強化を図ることとしています。

各施設における機能強化の概要（表1）

施設名	ポイント	機能強化の内容（ハード・ソフト）
鶴峰園	医療的ケアの充実 リハビリの充実	《全面改築》慈丘園と合築 ●看護師：高齢者や重度者に対する健康管理や医療的ケアの充実 ●PT等：心身機能維持・回復、車いす・自助具等の活用促進等
慈丘園	高齢障がい者対応 重心対応（短期入所） 強度行動障がい者対応 地域移行の推進	《全面改築》鶴峰園と合築 ●看護師：高齢者や重度者に対する健康管理や医療的ケアの充実 ●OT等：心身機能維持・回復、作業や余暇支援充実、日常生活力向上等 ●援助員：介護福祉士、強度行動障がい支援者養成研修修了者、相談支援専門員、サービス管理責任者
梓園	医療的ケアの充実 *難病者も対象 24H看護体制の確保 リハビリの充実 地域移行の推進	《改修》リハビリ室拡張、居室改修及び医療機器導入(酸素・吸引設備等) *全面改築を控えているため、必要最小限の改修を実施 ●看護師：高齢者や重度者に対する健康管理や医療的ケアの充実 ●PT等：心身機能維持・回復、車いす・自助具等の活用促進等 ●援助員：相談支援専門員、サービス管理責任者
コロニー希望が丘	高齢障がい者対応 重心対応（短期入所） 強度行動障がい者対応 リハビリの充実 地域移行の推進	《改修》ひめゆり寮（南棟）を高齢化対応に改修（居室、トイレ、浴室）、しらすぎ寮居室改修及び作業棟改修（強度行動障がい対応） 医療ケア増に伴う診療所の拡張（スペース拡張、医療機器整備） *将来、大規模改築を控えているため、必要最小限の改修を実施 ●看護師：高齢者や重度者に対する健康管理や医療的ケアの充実 ●OT等：心身機能維持・回復、作業や余暇支援充実、日常生活力向上等 ●援助員：介護福祉士、強度行動障がい支援者養成研修修了者、相談支援専門員、サービス管理責任者
吹浦荘	重度障がい者対応 地域移行の推進	《改修》短期入所用の居室設置（増設） ●援助員：強度行動障がい支援者養成研修修了者、相談支援専門員、サービス管理責任者
ワークショップ明星園	生活リハビリの充実 *高次脳機能障がいも対象 医療連携の強化 地域移行の推進（希望が丘入所者対象：村山出身）	《改修》施設改修(面積増)及びリハビリ室の設置 ●PT等：心身機能維持・回復、車いす・自助具・福祉用具の活用促進等 ●看護師：利用者からの健康相談を含め、健康管理や疾病予防の充実 ●援助員：相談支援専門員、サービス管理責任者

2 地域の新たな拠点施設へ

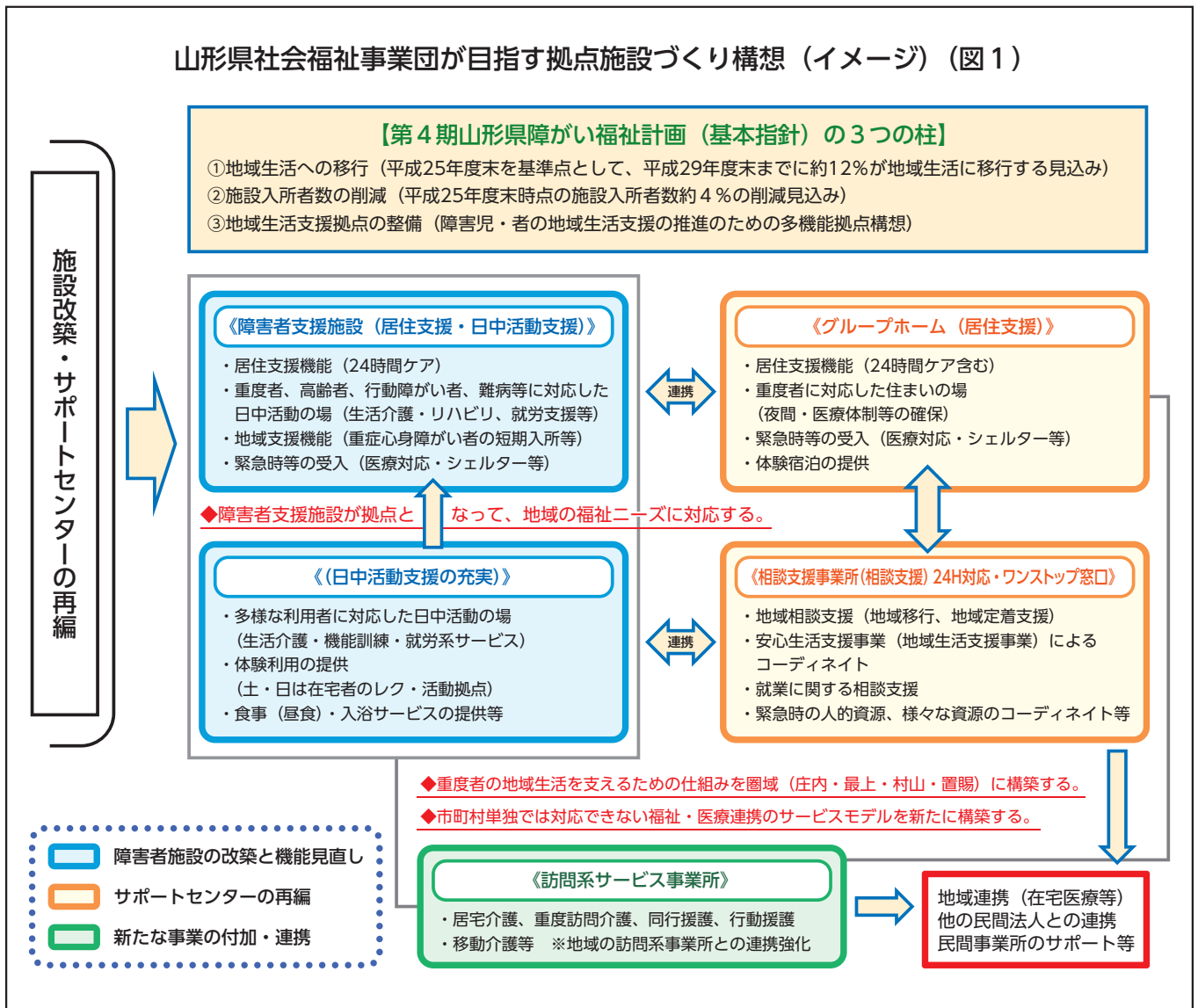
障害者支援施設は、入所機能と日中機能（通所を含む）を持ちあわせており、いわば24時間にわたって継続した支援を行なうことができる施設として、その役割を担っており、設備や人的資源を効果的に活用することで、様々な福祉ニーズに対応できる可能性を有しています。

当事業団の障害者支援施設では、(表1)のとおり、援助員、看護師、理学療法士及び作業療法士などを計画的に配置することとしています。特に、基準を超えた医療専門職の配置は、全国的にもあまり例のない取組みであり、多くの支援を必要とする人たち（医療的ケア、重度障がい、行動障がい、高齢障がい、重症心身障がい、難病、触法など）にとって、「安全で安心した生活」を送ることはもちろん、医療的ケアや健康管理、リハビリテーションによる心身機能の維持・回復、自立や社会参加を目指した生産・創作活動、健康運動による健康（体力）づくり、そして各種療法による感性を豊かにする楽しみづくりなど、利用者個々人に応じた心身の活性化とエンパワメントの向上につながるものと考えています。

また、公益的活動を推進する観点から、災害時の福祉避難所の指定、地域の障がい者や高齢者等に対する配食サービス、地域住民を対象とした福祉講座の開催など、地域社会に積極的に貢献していきたいと考えます。

特に、最初の改築となる「鶴峰園」と「慈丘園」の移転改築（合築）については、相談支援やグループホームなどのサポートセンター機能やコミュニティスペースを設置し、利用者や地域から必要とされる「新たな拠点施設の先行モデル」（図1参照）となるよう、全力を挙げて整備したいと考えています。

山形県社会福祉事業団が目指す拠点施設づくり構想（イメージ）（図1）

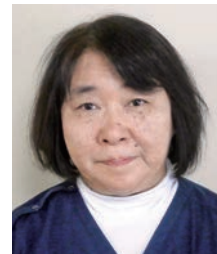


さて、当事業団では、採用後3年目の職員を対象に、講義・演習を通じて、モチベーションの維持や向上を図り、職種間の連携について、理解を深めることを目的としたフォローアップ研修を実施しています。今回、フォローアップ研修を終えた方々に「3年間仕事をしてきて感じたことや後輩への一言」と題し、お話を伺ってきました。

3年目職員にインタビュー

福寿荘 看護師 小松 龍子

福寿荘に就職して早いもので、3年が過ぎようとしています。自分は、みんなの役に立つことが出来ているのだろうか、と自問自答しながら日々を過ごしています。仕事をしていて感じることは、「和」を大切にすることだと思います。それは、職員同士の和であったり、利用者との和であったり、常に生活する場に必要とされていて、お互いがお互いを尊敬しながら、いたわりあって仕事や介護をすれば、みんな優しく楽しい気持ちになるのだと思います。私の理想論なのですが、自分の子供と同世代の同僚たちには、失敗しても自分のやりたいことを思い切りやってみてと言いたい。何かあったら、全力でサポートするから心配しないでと伝えたいと思っています。



希望が丘 管理課 調理係 調理師 佐竹祐里奈

多様化している食形態に対して、自分の知識・経験が不足していると感じることがあります。私に限らず若い人たちが積極的に研修等に参加し、調理師としてより良い食事を提供していきたいと思っています。まだまだ自分の未熟さを感じる日々ではありますが、経験を積み重ね、食事が生活の大きな部分を支えているという責任を感じながら、このやりがいのある職場で皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。



あさひ寮 主事 新野龍之介

3年間仕事をしてきて感じたことは、常に学ぶ姿勢を持つことが大切であるということです。私が採用されて2年目に事業団の会計基準が変わり、3年目には山形県から事業団に障がい者施設が移譲されました。事業団は大きな転換期にあり、この変化に対応するために新しいことを学び続けていく必要があります。利用者の方が安心して生活できるよう事業団をより良いものにしていくために共にがんばりましょう。



サポートセンターういんず 援助員 結城 大輔

この3年間を振り返ると入職、異動、新規事業担当…と、あっという間でした。今は生活困窮者支援を担当していますが、相談される方の期待に応えていくためにも、まだまだ勉強が必要な毎日です。いつもフォローしてくれる先輩方、同僚の皆さんには感謝の気持ちしかありません。後輩の皆さんには、今後自分がどの分野で活躍していきたいかを意識しながら、日々の支援にあたって欲しいと思います。良く（学び）働き良く遊び、心に余裕を忘れずに。



しらさぎ寮 援助員 島貫 寛基

私が、3年間仕事をしてきて感じたことは、常に客観的な見方を持ち、考える力が大切だということです。なぜそのように感じたかという、経験年数を重ねてしまうとどうしても「慣れ」が出てきてしまい、主観的な考え方になってしまうと思うからです。主観的な考え方になってしまうと支援の向上にも繋がらず、結果的に質の低いサービスの提供になってしまいます。このようにならないために、常に客観的な見方を持つことで、質の高いサービスの提供と自分自身のスキルアップにつなげられると思います。毎日繰り返しの日々より、どうしたら良い支援ができるか考えながら、仕事をした方が絶対に自分のためになると思うので、お互いに頑張りましょう。



平成27年度 決算報告

貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	2,064,296,887	流動負債	810,345,240
		固定負債	811,534,822
		負債の部合計	1,621,880,062
固定資産	2,626,261,217	純 資 産 の 部	
		基本金	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金	295,068,832
基本財産	1,203,691,135	その他の積立金	777,225,321
		次期繰越活動増減差額	1,986,383,889
その他の固定資産	1,422,570,082	(うち当期活動増減差額)	75,062,651
		純資産の部合計	3,068,678,042
資産の部合計	4,690,558,104	資産及び純資産の部合計	4,690,558,104

資金収支計算書

(単位：円)

勘定科目	決 算 額
大 区 分	
事業活動による収支	
事業活動収入計	6,496,337,736
事業活動支出計	6,186,150,737
事業活動資金収支差額	310,186,999
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	1,306,660
施設整備等支出計	50,686,788
施設整備等資金収支差額	△ 49,380,128
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	63,238,138
その他の活動支出計	175,254,594
その他の活動資金収支差額	△ 112,016,456
当期資金収支差額合計	148,790,415
前期末支払資金残高	1,325,837,103
当期末支払資金残高	1,474,627,518

事業活動計算書

(単位：円)

勘定科目	決 算 額
大 区 分	
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	6,481,931,596
サービス活動費用計	6,414,044,759
サービス活動増減差額	67,886,837
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	17,560,571
サービス活動外費用計	11,351,065
サービス活動外増減差額	6,209,506
経常増減差額	74,096,343
特別増減の部	
特別収益計	1,260,000
特別費用計	293,692
特別増減差額	966,308
当期活動増減差額	75,062,651
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,037,234,272
当期末繰越活動増減差額	2,112,296,923
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	125,913,034
次期繰越活動増減差額	1,986,383,889

笑顔と共に、これからも……

～鶴峰園40周年～

昭和51年7月に県内初の重度身体障害者授産施設として、鶴岡市湯田川に開所し、昨年7月に40周年を迎えることが出来ました。これも一重に関係機関の皆様、生産活動協力事業所の皆様、地域の皆様のご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、職業的自立をめざす授産事業所として出発した当園ですが、平成25年4月には障害者総合支援法により、「施設入所」と「生活介護」「就労移行支援」に事業内容を変更しました。これは、利用者の皆さんの高齢化、重度化が進んできたタイミングでもあり、一人ひとりの変化に対応するための重要な変更だったと思います。

40周年の記念行事では、昔のスライドを見て楽しみました。40年前のきらきらと輝く笑顔を未来に繋げて行くこと、安心して生活できる環境を守って行くことが使命と強く感じたところです。

(鶴峰園長 遠田 美枝)



技を究める

～全国障害者技能技術大会
ホームページ優勝！～

平成28年10月28日～30日に山形県総合運動公園及びビッグウイングで全国障害者技能競技大会（アビリンピック）が開催されました。この大会は日頃培った技能を互いに深め合うことを通じて、職業能力の向上を図るとともに、企業の障害者雇用に対する理解を深め、その雇用を促進することを目的としています。当事業団のサポートセンターかであるからはホームページ種目で加藤延啓さんが出場し、金賞を受賞しました。



ご本人からのコメント



全国大会は初めての出場で、受賞した瞬間は大変驚きました。ホームページは作成の基礎的な能力と大会当日に出題される課題への柔軟な対応が出来るかが試されるので大変でしたが、たくさんの人からのサポートにより、自分一人ではできないことも乗り越えられました。

事業団から地域へ伝えたい

～福祉セミナー～

社会貢献の一環として開催した本セミナーでは、当法人が長年に亘り取り組んできた健康づくりや介護予防のためのリハビリテーションについて、実践を交えながら知識と技術をお伝えすることを目的に開催しています。

今年度は、12月6日に山形県総合運動公園大会議室を会場に開催しましたが、午前中は当事業団の理学療法士・作業療法士が講師となり支援計画の中でどのようにリハビリテーションを位置づけていくか、演習も交えてお伝えしました。午後は、当事業団の健康運動実践指導者が講師となって、実際に身体を動かしながら、楽しく実践方法をお伝えしました。

当事業団のみならず、多くの施設で利用者の高齢化や障がいの重度化が話題となっている中、県内各施設から参加された皆さんは、楽しく「予防のリハビリテーション」や「健康づくり」を学べたことと思います。



ごあいさつ

常務理事 押野 賢也

山形県社会福祉事業団に昨年4月から常務理事として就任し、早くも1年が過ぎようとしています。県立障がい者6施設の移譲と「将来構想に基づく5ヵ年実行計画」のスタートという重要な節目の時期であり、職責の重さを痛感しております。運営する施設や事業所を訪問させていただき感じたことは、施設の老朽化や重度化・複雑化する福祉ニーズへの対応、事務処理の煩雑さなどの多くの課題を抱える中で、職員が日々高品質なサービスの提供に向け努めていることに感銘を受けました。今後とも山形県の福祉事業の先導的な役割を半世紀を越え担ってきた実績と事業団の特性である先駆性、専門性、広域性及び事業・人材の多様性を活かしながら、役職員一丸となり同じ目標に向かい利用者及び県民からの信頼得ることが重要であると思えます。微力ではありますが挨拶と笑顔を忘れずにがんばりますので引き続きよろしく申し上げます。



おいしいパンをどうぞ

のどかでは生産活動として、パン作りをしています。『国産の原材料を使い、添加物はいれない』ことを“売り”に、安心安全で美味しいパンを作ることにこだわり続けています。

新作パンの3種類を紹介します。皆様、是非ご賞味ください！

職業指導員 阿部 直美



「フランスパン」です。以前から交流のある山形市内のパン屋さんの店主から手取り足取り教えていただきました。シンプルながらも、最も小麦の香りが楽しめる“奥深い”パンです。

今話題の「ちぎりパン」です。お花のように可愛らしく、ごまチーズと塩バターの2つの味がフワフワな食感と共に楽しめます。

「コロネパン」は、昨夏から販売をさせていただいている県立東桜学館高の生徒さんから絶大な人気を得ています。(右側から)“いちごクッキークリーム”“黒豆きなこクリーム”“抹茶クリーム”と3つの味が楽しめ、大好評です。

〒999-3511 西村山郡河北町谷地乙56番地の8 就労継続支援B型事業所「のどか」

詳しいお問い合わせは ☎0237-72-6550までご連絡ください！

まごころ料理で心もあったか



1泊2食付き **5,350円**(税込)
60歳以上の方・母子(寡婦)・父子・身体障がい者等の方

掛け流しの温泉で ゆったりのんびり疲れを癒す



あつみ温泉 山形県福祉休養ホーム **寿海荘**

〒999-7204 山形県鶴岡市湯温海字湯之里88-1
お問い合わせ(ご予約) **0235-43-4173**